

ハンガリーから見た難民問題の現実

2016年4月21日

盛田 常夫

<http://www.morita-from-hungary.com>

Tateyama R&D Europe Ltd., Hungary

アフリカや中東諸国からの「難民」・
「移民」の発生は、イラク侵攻やリビ
ア政権崩壊、シリア内戦に伴った現象
である。

IMMIGRATION ROUTES INTO THE EU BY LAND AND SEA

Most migrants enter the EU through international airports; most of those living in the EU illegally originally entered with valid documents but then overstayed on a visa. Many others though enter via land and sea routes; the estimated numbers of those who entered in 2012 are shown below.

WESTERN BALKAN ROUTE

6,390

Number of illegal border crossings

Top 3 nationalities:
Afghanistan 1,670
Kosovo 940
Pakistan 860

WESTERN MEDITERRANEAN ROUTE

6,400

Number of illegal border crossings

Top 3 nationalities:
Algeria 2,020
Not specified 1,410
Morocco 500

CENTRAL MEDITERRANEAN ROUTE

10,380

Number of illegal border crossings

Top 3 nationalities:
Somalia 3,390
Tunisia 2,240
Eritrea 1,890

EASTERN BORDERS ROUTE

1,600

Number of illegal border crossings

Top 3 nationalities:
Georgia 330
Somalia 260
Afghanistan 200

CIRCULAR ROUTE FROM ALBANIA AND GREECE

5,500

Number of illegal border crossings

Top 3 nationalities:
Albania 5,400
FYROM 40
Kosovo 30

EASTERN MEDITERRANEAN ROUTE

37,220

Number of illegal border crossings

Top 3 nationalities:
Afghanistan 9,560
Syria 7,130
Bangladesh 4,600

APULIA AND CALABRIA

4,770

Number of illegal border crossings

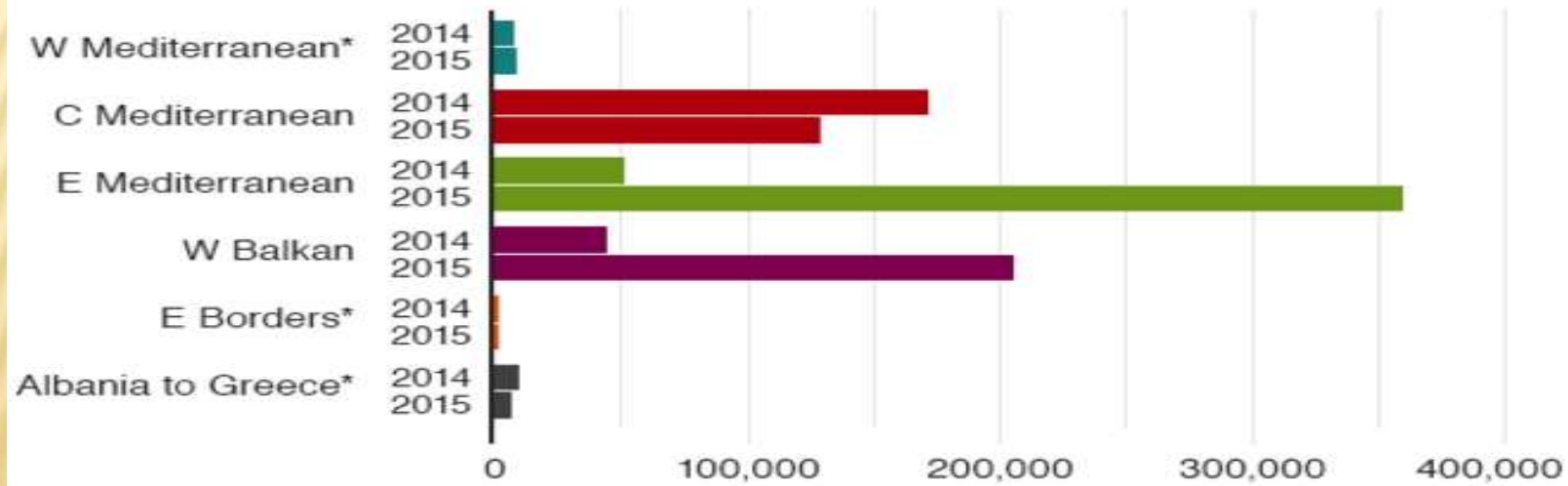
Top 3 nationalities:
Afghanistan 1,710
Pakistan 1,160
Bangladesh 500

SOURCE: Frontex Annual Risk Analysis 2013 | Designed by Inez Torre/CNN



そして、2015年初頭からシリア難民
が急増し、それに便乗する大量移民
が、ヨーロッパに押し寄せた。

Migrants detected entering the EU illegally, Jan-Sept 2015



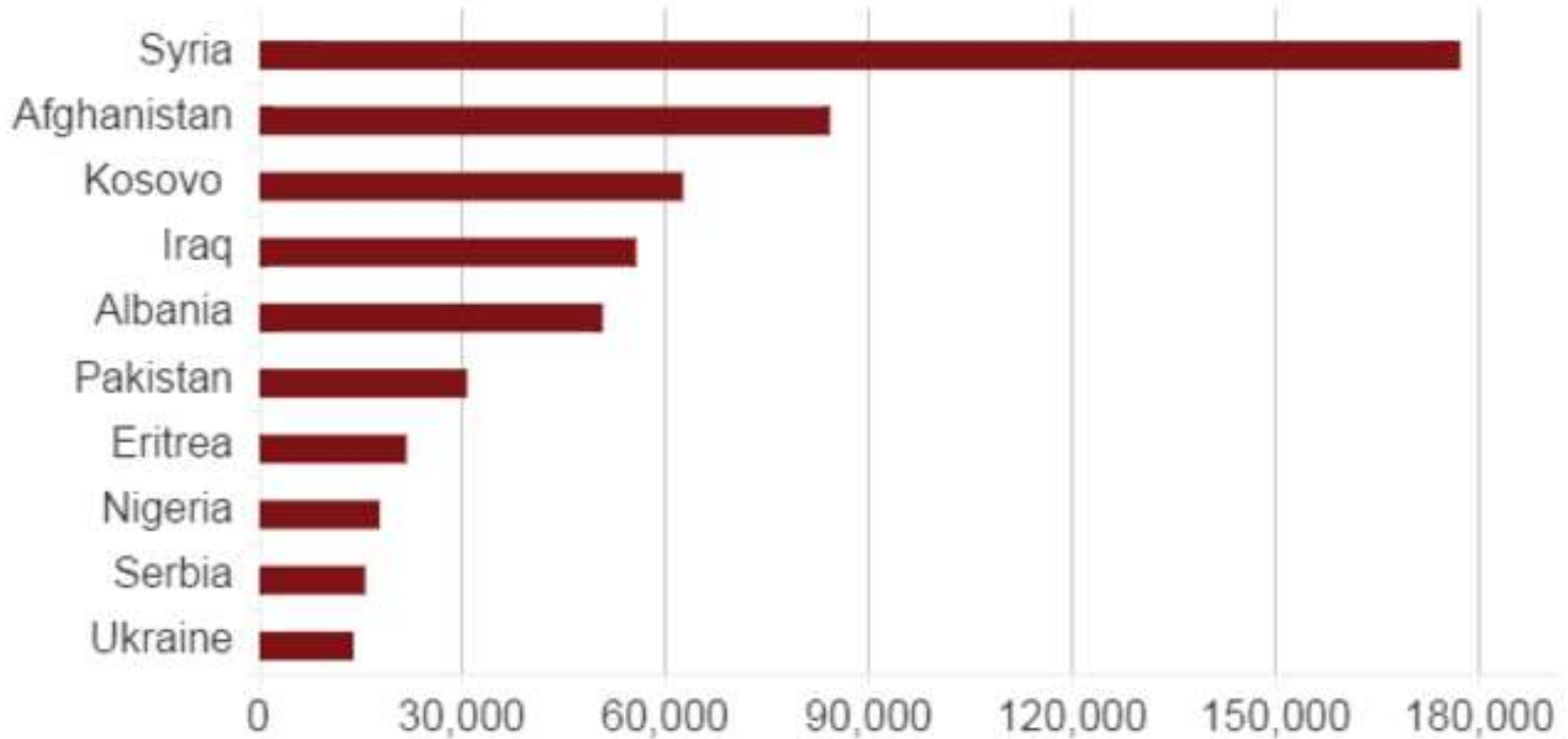
*Figs for Jan to Aug 2015

Source: Frontex

BBC

Top 10 origins of people applying for asylum in the EU

January - October 2015, first-time applications



Source: Eurostat

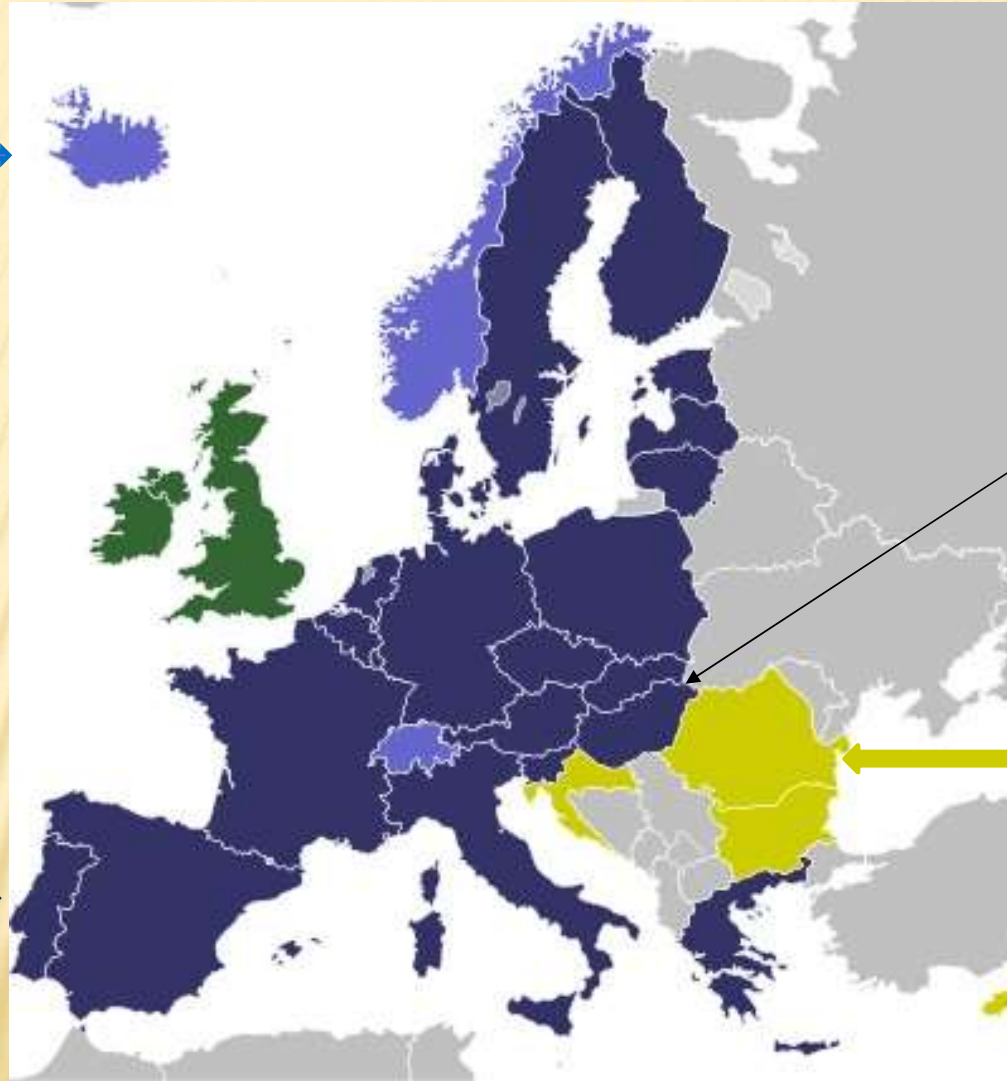
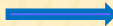
Migration routes to Europe

2014年末から始まったシリア、イラク、
アセガもを欧州への難民難移民発生
原因量移動を積極的に援助する組

織が存在する。その組織の意図

20 目的は何かからシリアへ拡大されたア
メリカの空爆こそが、未曾有の大量難
民と」それに便乗した移民を生み出し
た最大の原因である。

**non-EU
countries**



**Hungary with
Schengen border**

**EU countries
outside Schengen border**

**EU
countries
with
Schengen
border**

Migrant arrivals in Greece by sea

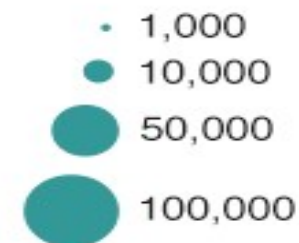


Arrivals in 2015
856,723

Total arrivals by
sea in 2016
123,246



Number of people



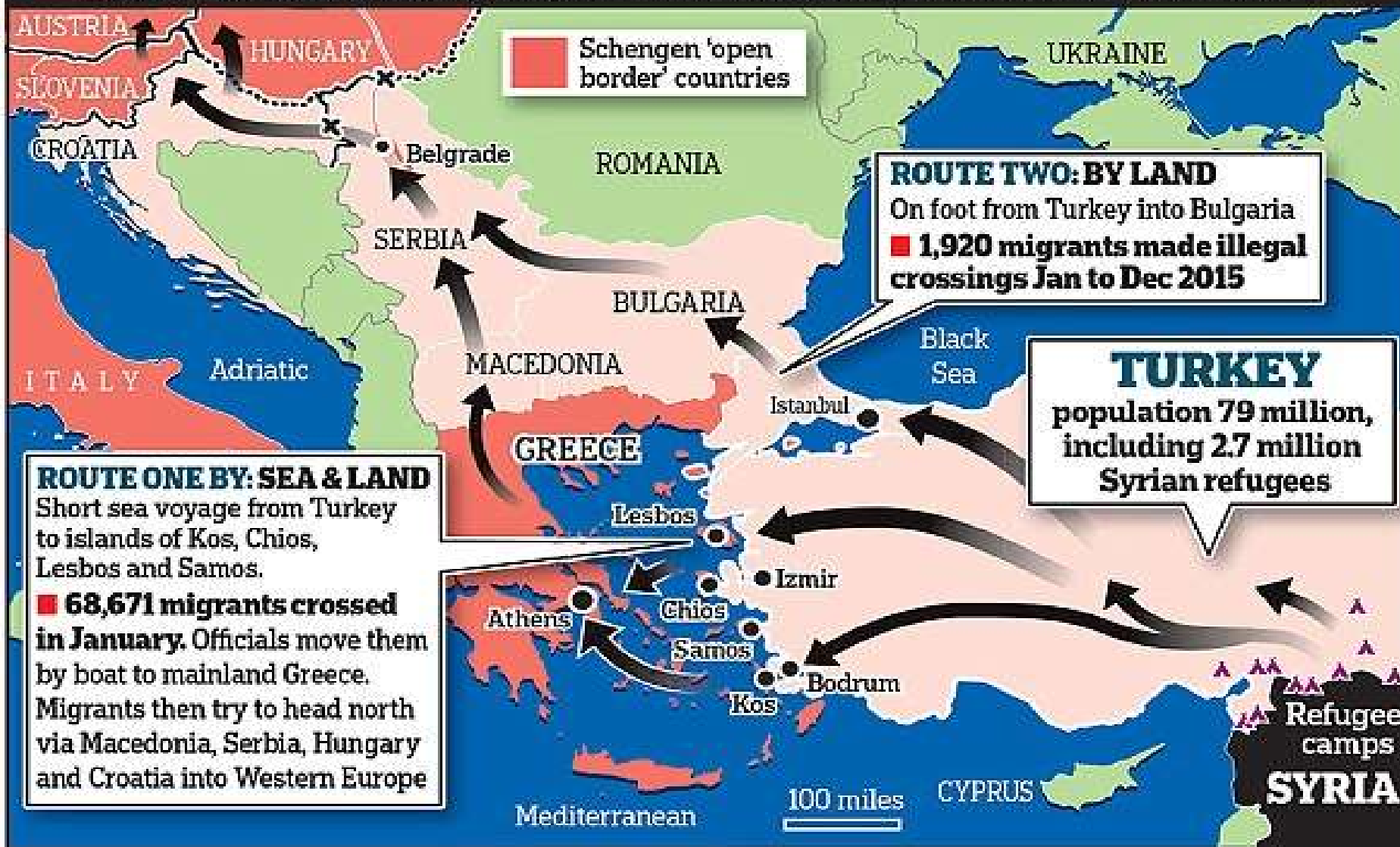
Source: UNHCR (data to 1 March 2016)

BBC

現在の難民・移民流入ルート

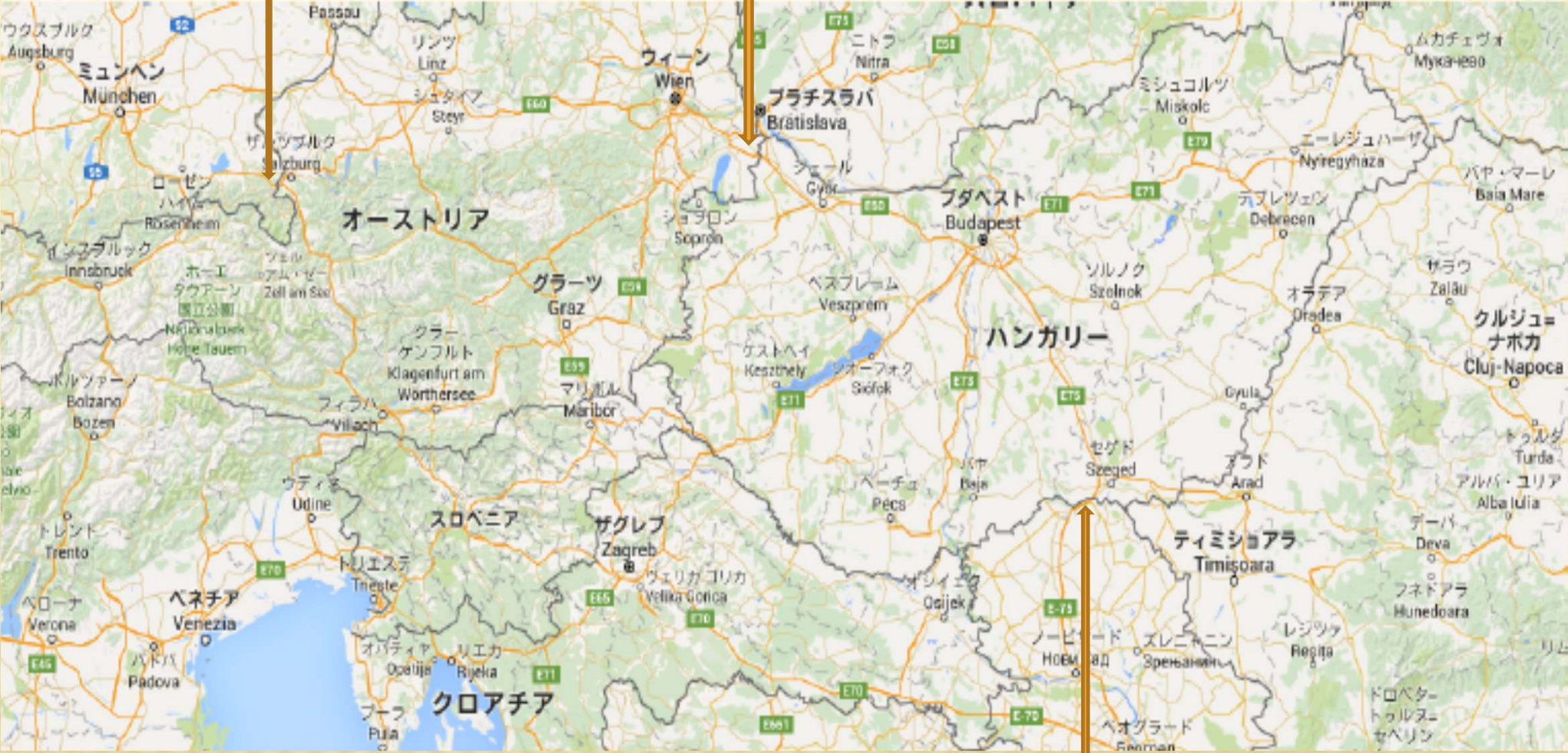


DESTINATION EU: MIGRANTS ON THE MOVE



Freilassing-
Salzburg border

Hegyeshalom-Nickelsdorf border



Rösztke-Horgos border







MTV



KÖZVETLEN LÉGI JÁRATOKON HOZNÁNAK BEVÁNDORLÓKAT TÖRÖKORSZÁGBÓL AZ UNIÓBA

4C
KOLOZSVÁR

▶ 12:25 29:51 HD

الحقائق

1. الحدود اليونانية - المقدونية هي "إيديمني" مغلقة وسوف تبقى كذلك
2. سوف لن يكون هناك باصات أو قطارات لتنقلكم إلى ألمانيا
3. من المحتمل أن من سيبقى في اليونان سوف يتم ترحيله إلى تركيا
4. من المحتمل أن يتم إفراغ المخيم الحدودي في إيديمني في غضون أيام قليلة قادمة. والمرجح أن يتم إجباركم للذهاب إلى مخيمات الحكومة اليونانية، حيث يتم من هناك نقلكم وترحيلكم إلى تركيا.

الحل

1. الحاجز المزوج موضوع لإيهاكم أن الحدود مغلقة. السور ينتهي على بعد خمسة كيلومترات من هنا، حيث لا يوجد حاجز يمنعكم من دخول مقدونيا. يمكنكم عبور الحدود من هناك! (انظر: الخارطة)
 2. إذا ذهبتم بمفردكم في مجموعات صغيرة ستتمكن شرطة الحدود أو الجيش من إيقافكم وإعادتكم إلى اليونان.
 3. عند تجمع ومرور آلاف الأشخاص سوية، لن تتمكن الشرطة من إيقافكم أو إعادتكم.
- دعونا نلتقي يوم الاثنين، الساعة الثانية عشر ظهراً ١٢:٠٠ عند مخرج المخيم ولنذهب لنقطع الحدود سوية.
الرجاء النظر للخارطة لمعرفة الطريق ونقطة التجمع.



混乱するEUの「難民政策」、シェンゲン境界の事実上の開放による無制限流入

大量の「難民」・「移民」が押しかけたことによって、EUの「難民」政策と国境管理が、事実上、崩壊した。この事実をどう捉えるのか。当事者国と非当事者国、シェンゲン国と非シェンゲン国、多民族社会になった国家と少数民族問題を抱えない国家との間の対立や考え方の違いが明確になった。これに、旧来の西欧の政治的イデオロギー抗争が複雑に絡んでいる。

左翼的無政府主義や右翼的市場原理主義と国益主義の狭間で、基督教的人道主義が袋小路に入ってしまった。

誰もCDU（キリスト教民主同盟）のメルケル首相の善意を疑っていない。だから、現在でも支持率は高いが、連立を組むSPD（ドイツ社会民主党）は「難民」の無条件保護を主張し、CDUの兄妹党であるバイエルン州のCSU（キリスト教社会同盟）は国境管理の厳格化を求めている。

市場原理主義の政党はドイツに存在しないが、産業界がそれを代表する。

責任のない当事者である限り、イデオロギー的にバッシングし、当面の体裁をとることができる。

クロアチア首相もオーストリア首相も、ハンガリーの「難民」管理を批判し、国境フェンス構築を「暗黒時代へ逆行」と批判した。ウィーン市長も、希望する人が居れば、ウィーンに残っても良いという考えを披露していた。

同様の批判は、セルビアからも寄せられた。セルビアにはシェンゲン境界を守る義務はない。厄介払いのように、「難民」をマケドニアの国境からハンガリーあるいはクロアチアの国境へ運べば良いだけだ。しかも、当初のバス輸送では、バス料金が請求されていた。

最初に考えるべき基本的な問題

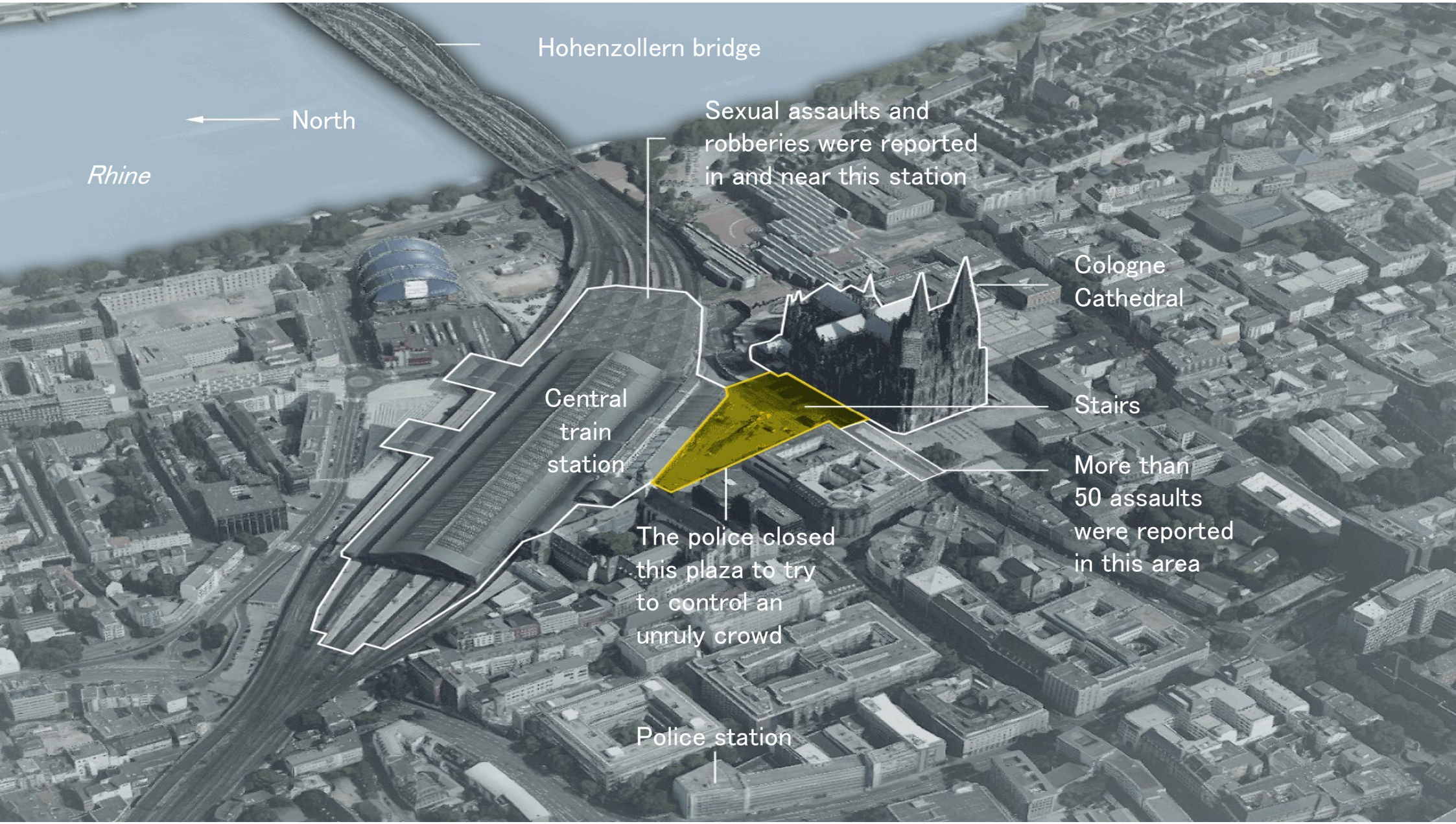
1. ハンガリーはシェンゲン国境を守るべきか否か
2. 目的国を選択する「難民」は、たんなる「移民」ではないか。
3. 身分を証明できる書類を保持しない「難民」は主権国を自由に往来する権利があるか。彼らは「難民」なのか、それとも「不法移民」なのか。

大晦日の事件によって

ドイツの移民政策に転機

ドイツの主要都市や、チューリッヒ、ヘルシンキ、ザルツブルグ、カルマールで、難民の若者集団が女性を襲い、所持品をひったくった





Rhine

← North

Hohenzollern bridge

Sexual assaults and robberies were reported in and near this station

Cologne Cathedral

Central train station

Stairs

More than 50 assaults were reported in this area

The police closed this plaza to try to control an unruly crowd

Police station



1月19日、ノルトライン＝ヴェストファーレン州ラルフ・イエーガー内務大臣は、大晦日におけるケルン中央駅と大聖堂周辺で生じた大規模な婦女暴行並びに窃盗事件について、その詳細を発表した。その概略は以下の通りである。

1. 集団暴行事件の被害者は1049名に上り、被害者の8割は女性である。
2. 警察に寄せられた被害届けは821件である。被害者数と届け数が違うのは、グループで被害届けを出した人々が多数いたからである。
3. 821件の被害届けのうち、性的被害届けは359件である。
4. このうち、207件については、性的嫌がらせと強奪が同時に行われた。
5. 大晦日の夜11時から30分間に、52件の性的嫌がらせや性的暴行事件が発生した。
6. 容疑者30名のうち、13名がモロッコ人、12名がアルジェリア人である。
7. 容疑者の年齢は16～32歳である。
8. 容疑者のうち15名がドイツでの難民申請者であり、2名が未成年者である。
9. 容疑者の誰一人、ケルンの住民ではない。
10. 大晦日の事件が組織的に実行されたという証拠はつかめていないが、ドイツの別の都市からやってきた種々のグループが、それぞれ暴行事件を惹き起こしたもので、実行者の国籍も異なる。



KÖSZÖNÖM



1956 1989 2015



...ter Straße



ケルンのカーニヴァルの様子(2016
年2月5-9日)

注意すべきは、過去のレイプや暴力写真が、今回のドイツの暴力事件の写真あるいはビデオとしてインターネットに多く氾濫している。

次に見せるビデオは、今回の事件のビデオとしてインターネットにアップロードした者がいるが、実際にはすでに2013年にYouTubeにアップロードされたもので、その時のキャプションは、2011年エジプト・カイロのTahrir Squareで、オランダのジャーナリストが受けた暴行事件としてキャプションが付いていたものである。

今回の事件と類似したところがあるので、将来、学生あるいは一般旅行者がこの地域を訪問し、群衆の中に紛れ込んだ場合のリスクを知る上で、重要である。

LiveLeak



経済移民の強制送還、シェンゲン条約の一時的停止

メルケル首相はケルン他の都市で発生した暴力犯罪が明らかになった1月4日、刑事事件を犯した難民あるいは難民申請者は、有罪・執行猶予を問わず、年齢を問わず、国外退去措置をとることを表明した。それに伴い、ドイツ政府は、年初から、オーストリア側に1日、200名前後の経済移民を送り返し始めた。

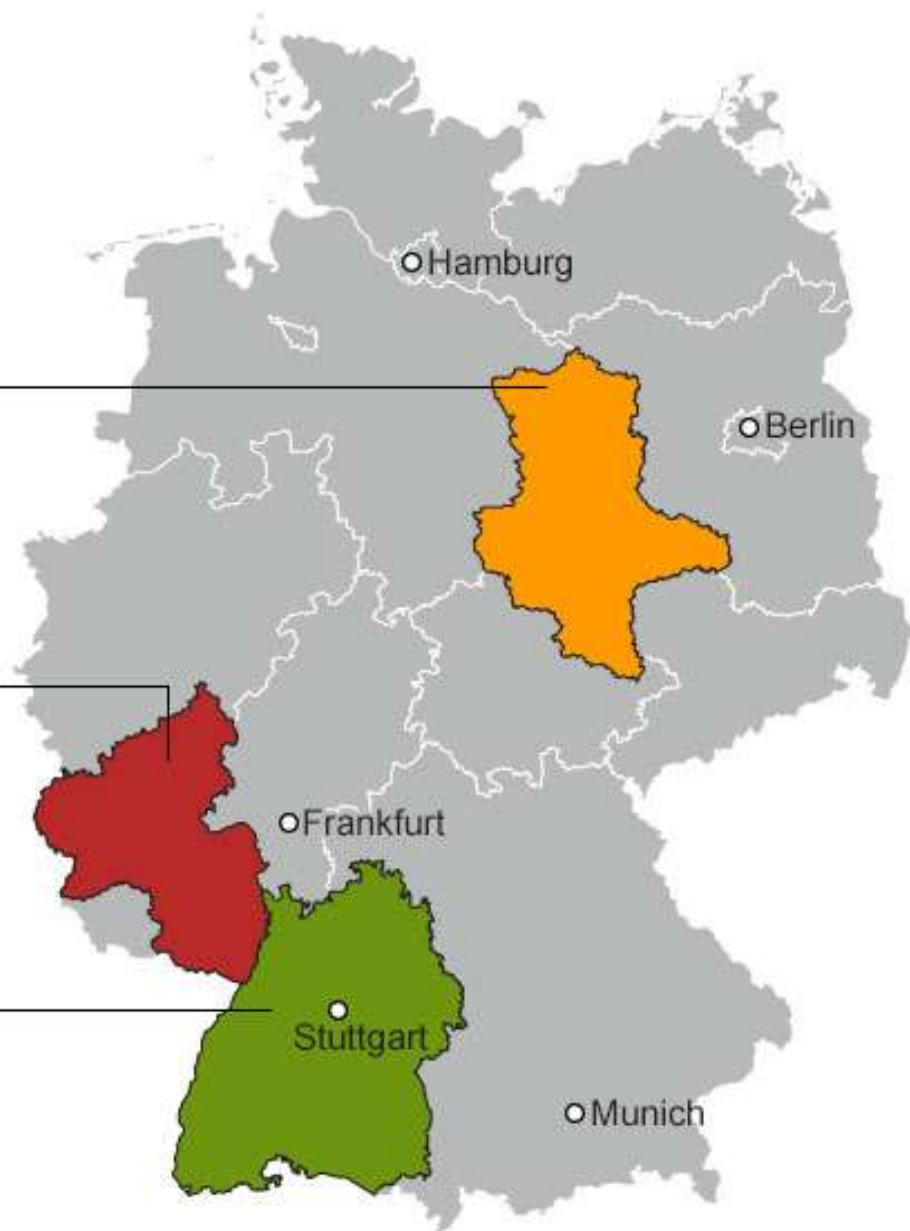
このドイツ側の措置にたいして、オーストリア政府は1月15日、シェンゲン条約義務遂行を停止し、国境検問を開始することを決定した。1月18日より、難民の国内通過を認めず、オーストリアで難民申請をする者のみを受け入れ、難民キャンプに収容することを決定した。

すでにスウェーデンとデンマークの国境でも、国境検問が再開されており、多くの国でシェンゲン条約に定められた域内の自由通行の義務・権利が停止されることになった。

Sachsen-Anhalt

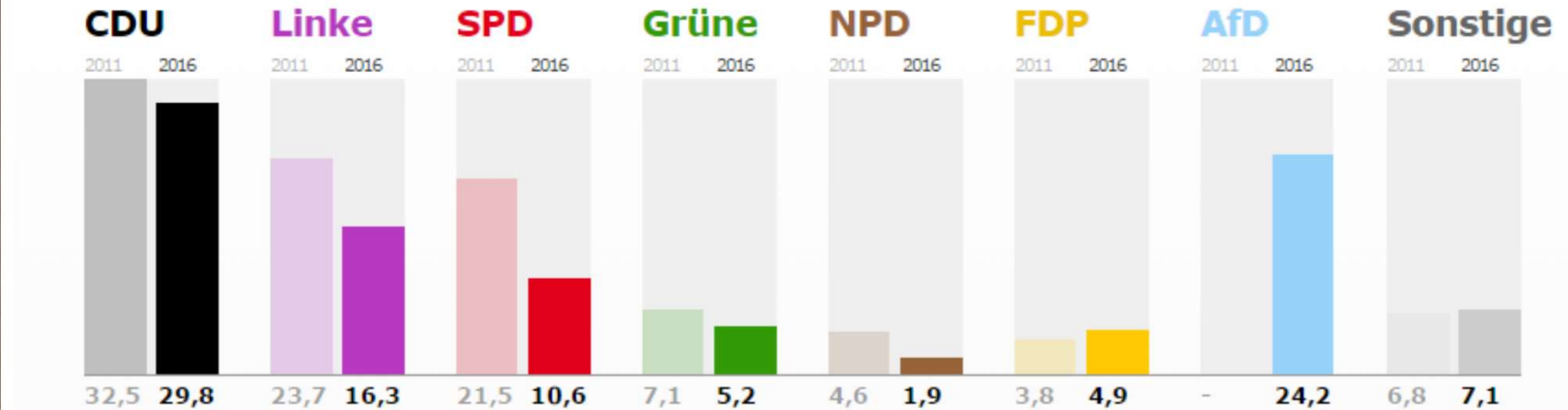
Rheinland-Pfalz

Baden-Württemberg



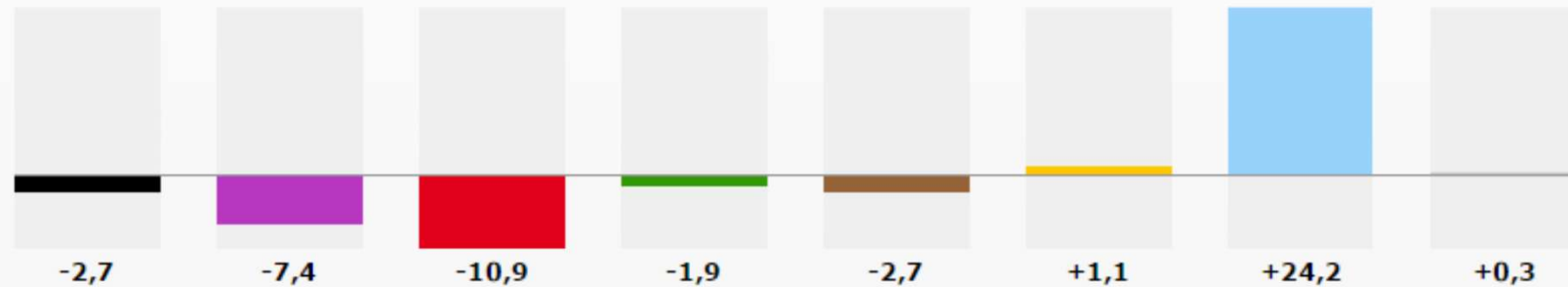
Sachsen-Anhalt一州議會選舉結果(2016年3月)

Prozente



Gewinne und Verluste

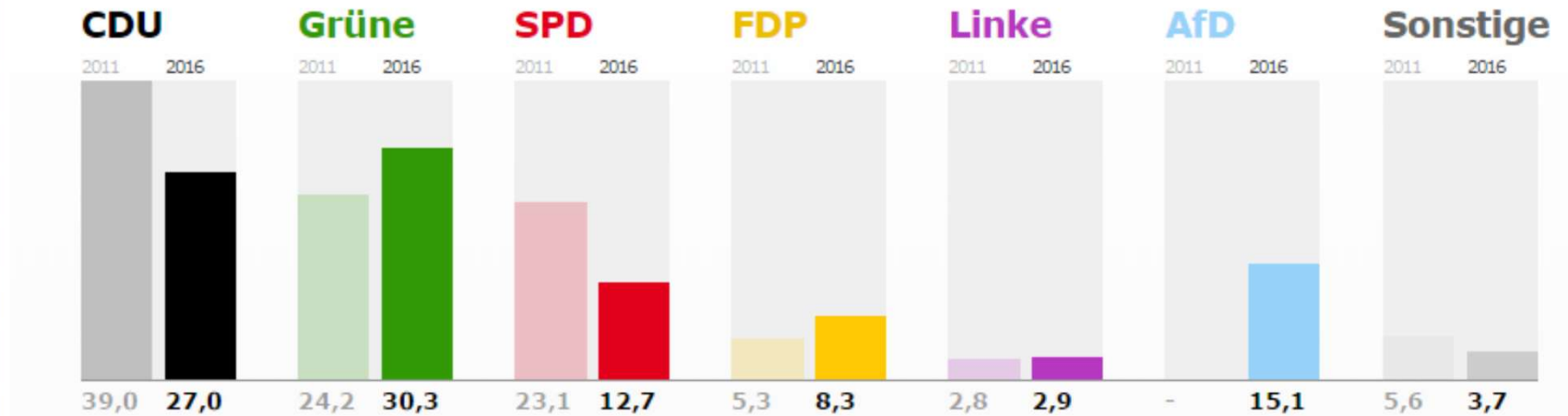
zur Wahl 2011



投票率:61.1%(2016)、51.2%(2011)

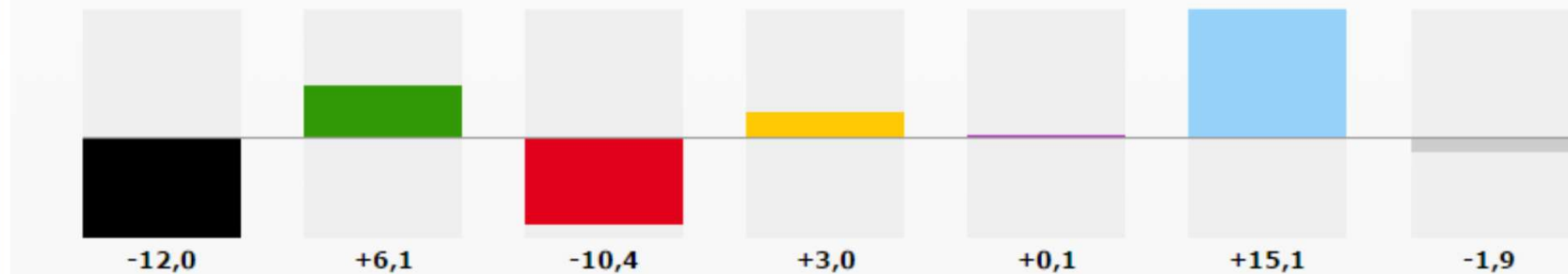
Baden-Württemberg一州議會選舉結果(2016年3月)

Prozente



Gewinne und Verluste

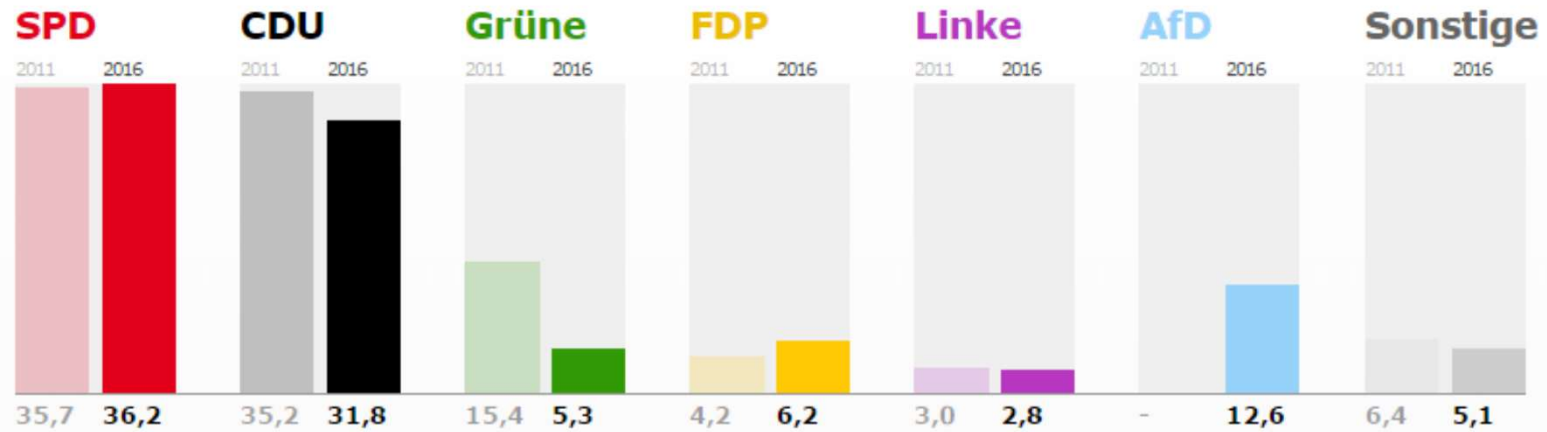
zur Wahl 2011



投票率:70.4%(2016年)、66.3%(2011年)

Rheinland-Pfalz – 州議会選挙結果(2016年3月)

Prozente



Gewinne und Verluste

zur Wahl 2011



投票率:70.4%(2016年)、61.8%(2011年)

難民問題が政治的カードに転化

1. EU-トルコ
2. トルコ-キプロス
3. マケドニアとセルビア
4. EU大国と中・東欧諸国

難民割当（クォータ）の協議 (2015年9月～11月)

1. 9月にEU委員会が決定した16万人の「難民」（ギリシアとイタリアに在留）の強制割当－**2016年3月まで937名実現**
2. 有志国によるトルコからの「難民」受入れ（40－50万人、空路による）－トルコとの関係国協議（11月）－**実行なし**
3. 将来の「難民」流入の自動的割当てスキーム（10月）－**否決**
4. トルコへの難民支援（30億ユーロ、11月）－**順次実行**

EU-トルコの難民合意（2016年3月18日）

合意事項

2016年3月20日より、トルコからギリシアへ不法入国する者は、難民・移民を問わず、トルコへ即時送還する。

トルコ側の要求

1. 30億ユーロの追加支援
2. 査証免除協定の2016年4月からの発効
3. EU加盟審査の加速化
4. トルコへの送還者1名につき、EU側が1名のシリア難民の受入れ



© englishblog.com

8 - 3 - 1 6

スペインからのハンガリーバッシング、 CNNによるハンガリー政権批判

そこに共通するのは、ハンガリーの政権は偏狭な民族主義的利益を最優先しており、「難民」・「移民」への人道的配慮が欠けているというイデオロギー的批判である

難民を迫害し、排外主義的傾向を一層強めていくハンガリーのオルバン政権

HARBOR BUSINESS Online 9月12日(土)9時21分配信

フランスの極右政党であるの国民戦線のマリーヌ・ル・ペン党首はバルス仏首相の難民を受け入れる姿勢に対し、「難民認定の権利が余りにも柔軟過ぎて、最終的には不法入国者はそのままフランスに留まってしまふ。何故なら、その僅か1%しか本国に送還されないからだ」と述べている。外国人排斥を主張するル・ペン党首はEU域内での移動の自由を認めるシェンゲン協定の全廃を訴えている。(参照:「エル・ディアリオ」紙)。

そしてそんなル・ペン以上に外国人排斥を実行しようとしているのがハンガリーの右派連合「フィデス=ハンガリー市民同盟」を率いるヴィクトル・オルバン首相だ。オルバン政権は、EUに加盟しておりながらあたかも加盟国でないかのように連携を避けて独立性を維持しようとしている。その意味でも彼はシェンゲン協定には賛成できない考えでいる。

スペイン紙「エル・コンフィデンシャル」によれば<今年6月には、ハンガリー政府は800万の家庭に不法移民についてのハンガリー人の考えを問うアンケート調査を実施している。そのアンケートの質問内容には不法移民とテロリズムを結びつけようとする狙いが窺われていた>という。ブダペストの国連難民救済高等弁務官事務所 (UNHCR) のエフェ・エモ・サイモン氏は<「ハンガリー国内で難民への敵対意識が増加していることが気がかりだ」>と語っている。

スペイン各紙の報道によれば、<中央の難民収容所センターには200個の軍隊のテントも張られ、収容可能人員1000人のところに既に3000人が収容されている>という劣悪な環境だ。しかも、<政府は難民が指定の収容所から無断で移動した場合には懲役1-3年の刑を課す法案を近く議会で承認させる意向である>とされ、一旦収容されると、難民受け入れが受理されて移動の自由が容認されない限り、そこから出ることが出来なくなる>のだ。

ハンガリーに入る大半の難民にとってハンガリーは単なる通過国でしかない。だから難民受け入れ申請をハンガリー国内でするのを避ける傾向にある。しかし、オルバン政権は一旦入国した難民は完全にコントロールしようとする姿勢なのだ。これに対してEU委員会は人権の尊重を訴えてオルバン政権の独裁的姿勢の改善を要求している。

難民を迫害し、排外主義的傾向を一層強めていくハンガリーのオルバン政権

HARBOR BUSINESS Online 9月12日(土)9時21分配信

フランスの極右政党であるの国民戦線のマリーヌ・ル・ペン党首はバルス仏首相の難民を受け入れる姿勢に対し、「難民認定の権利が余りにも柔軟過ぎて、最終的には不法入国者はそのままフランスに留まってしまおう。何故なら、その僅か1%しか本国に送還されないからだ」と述べている。外国人排斥を主張するル・ペン党首はEU域内での移動の自由を認めるシェンゲン協定の全廃を訴えている。（参照：「エル・デイアリオ」紙）。

そしてそんなル・ペン以上に外国人排斥を実行しようとしているのがハンガリーの右派連合「フィデス=ハンガリー市民同盟」を率いるヴィクトル・オルバン首相だ。オルバン政権は、EUに加盟しておりながらあたかも加盟国でないかのように連携を避けて独立性を維持しようとしている。その意味でも彼はシェンゲン協定には賛成できない考えでいる。

スペイン各紙の報道によれば、＜中央の難民収容所センターには200個の軍隊のテントも張られ、収容可能人員1000人のところに既に3000人が収容されている＞という劣悪な環境だ。しかも、＜政府は難民が指定の収容所から無断で移動した場合には懲役1-3年の刑を課す法案を近く議会で承認させる意向である＞とされ、一旦収容されると、難民受け入れが受理されて移動の自由が容認されない限り、そこから出ることが出来なくなる＞のだ。

ハンガリーに入る大半の難民にとってハンガリーは単なる通過国ではない。だから難民受け入れ申請をハンガリー国内でするのを避ける傾向にある。しかし、オルバン政権は一旦入国した難民は完全にコントロールしようとする姿勢なのだ。これに対してEU委員会は人権の尊重を訴えてオルバン政権の独裁的姿勢の改善を要求している。

ハンガリーがセルビア国境にフェンスを建設するという決定に、オーストリア、セルビア、クロアチアの政権政党は、口汚く、ハンガリー政権を罵った。20世紀の暗黒時代への逆行だと。

しかし、世界の各地に、各種の国境フェンスが建設されている。

Country: ■ has built barriers ■ has not built barriers
Schengen area ■ has built barriers ■ has not built barriers

Borders with fenced sections: — completed or under construction — planned

The
Economist

Daily chart

More neighbours make more fences

Sep 15th 2015, 12:24 BY THE DATA TEAM



By [JOHN HALL](#) and [PETER ALLEN FOR MAILONLINE](#)

PUBLISHED: 14:14 GMT, 5 August 2015 | **UPDATED:** 19:50 GMT, 5 August 2015

Finally! Workers put up fences, razor wire and extra security cameras at the Eurotunnel site in France to stop people illegally reaching Britain...

meanwhile the migrants are building HOUSES

- Security has been boosted near the entrance to the Eurotunnel in Calais
- Extra CCTV cameras and reinforced fences were put up earlier today
- But there are concerns Calais camp could become a permanent settlement
- Migrants were seen building wooden structures at the site this morning
- **A mosque, shops and even a telecoms hub have already been built there**

Calais migrant crisis: UK to beef up border security with 9ft high, 2.5 mile fence

Published time: 29 Jun, 2015 11:32

Edited time: 26 Aug, 2015 11:25

[Get short URL](#)



A group of migrants gather near a line of lorries waiting on the motorway which leads to the Channel Tunnel terminal in Calais, northern France, June 24, 2015. (Reuters / Christian Hartmann) / Reuters



© © AP

スペイン領メリリャとモロッコの国境



ブルガリアとトルコの境界に張られたフェンス(2015年、およそ80km)



アメリカとメキシコの国境地帯ー堅固な鋼鉄製の壁
が構築されている



スペインメディアの報道は、前提が間違っていないか

1. EU内（シェンゲン国内）の自由通行と、シェンゲン国への自由入国を混同している。後者はシェンゲン条約とも、一般の主権国の入国管理原則とも相容れない。
2. 「難民だから、シェンゲン条約国の国民と同じように自由通行の権利がある」などとは、どの条約にも規定されていない。「難民」・「移民」の無条件自由通行権を主張するのは、無政府主義的な主張である。
3. 欧州の社会民主主義政党で、政権の座にある政党は、国境管理の厳格化に反対し、「難民」の自由通行を認めている。その立場から、国境管理の厳格化を求めるハンガリーをイデオロギー的に批判するのが常である。
4. ここから、オルバン首相などは、国境を管理を廃止し、「難民」・「移民」を支援するソロスを「左翼」だと決めつけているが、ソロスの場合は市場原理主義に立っていると考えられる。左翼的な無政府主義と市場原理主義は、国境廃止という点で共通しているのである。

Former Hungary PM opens home to refugees ハンガリーの前首相、シリア難民を自宅へ招く

CNNは難民問題で一貫してハンガリー政府を批判し、旧社会党党首を持ち上げている



ハンガリーとアメリカとの外交関係は良事好でなく、事あるごとに、ハンガリー批判を展開している

While Hungary's government takes a hard line on refugees, the country's former PM Ferenc Gyurcsány tells Amanpour he has been welcoming them in his own home. **CNN**



CNNがジュルチャーニイ元首相（当時、ハンガリー社会党）と特別インタビュー番組を放映

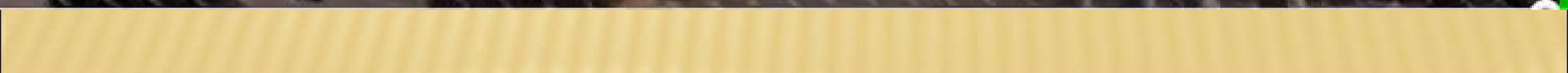
ハンガリーが偏狭な民族主義の立場から、「難民排除」に向かっていることを報道

セルビアーハンガリーの国境検問所襲撃事件

9月15日午前零時をもって、ホルゴシュールスケの検問所が閉鎖された。閉鎖直前まで多くの「難民」・「移民」がハンガリー領へ入ったが、閉鎖後に国境へたどり着いた人々のうち、若い青年たちが検問所を襲撃する事態が起きた。国際メディアはハンガリーが難民に放水と催涙ガス発射とだけ報道した。



ハンガリー領ルスケ（セルビアとの国境） に生じた3週間の出来事



Hungary – Serbia border on 16th September



このハンドマイクはどうやって入手したのだろうか

自分で持参したのか、それともセルビア警察から借りたものか



What happened on 16th September at Hungary-Serbia border



Photograph: STOYAN NENOV/REUTERS



CNNを初め、国際メディアはハンガリーの無慈悲な対応を非難

ハンガリーは難民に対して冷酷な対応を行っている

ハンガリーの独裁政権と、東欧の無知と恐怖にあおられた感情が、無慈悲な対応を惹き起こしている



梅原 季哉

風

フェンスの先に見える危機

セルビア国境から

朝日新聞 10月24日

朝日新聞9月22日

木々の黄色い葉に彩られた美しい田園風景と似合わない、無機質な金網が連なっていた。欧州大陸の東南部バルカン半島に位置するセルビアと、北の隣国ハンガリー。その国境地帯は平原が続き、同国を隔てるものはない。そこでこの夏、難民危機に直面したハンガリーは、「不法入国防止策」として、セルビア国境に鉄条網つきのフェンスを構築した。

ハンガリーは9月、国境のセルビア側ホルゴシュに詰めかけ入国を求めた人々に放水や催涙弾で応じた。戦乱のシリアなど母国を捨て、小舟で海を渡り、バスや鉄道を乗り継ぎバルカン半島を北上してきた人々だ。彼らは、目的地の欧州連合(EU)、中でもドイツへの玄関口となるはずのハンガリーに閉め出された。

ホルゴシュ周辺では今、完全封鎖策を受けて人々の姿は消えた。だが、低空飛行でヘリが飛び、枝道では警察車両が目を光らせる。警戒感が消えていない。

一種の既視感と複雑な思いが私を襲った。1999年の春、私自身がまさにこのハンガリー・セルビア国境で、何度も入国拒否され、立ち往生を強いられた。

ただしその時に入国制限をとっていたのは、ハンガリーでなくセルビア(当時の国名はユーゴスラビア)の方だった。専制的なミロシエビッチ政権が、支配下に置いていたコソボの住民を弾圧し、米欧の連合軍から懲罰として空爆されていた。セルビアは国際社会で「悪玉」扱いされる国だったのだ。

コソボ紛争では、セルビア治安部隊によって標的にされた人々が数十万人単位

で南へ国境を越え、隣国マケドニアに遊れた。第2次世界大戦後の欧州では最悪の難民危機だった。

16年後の今、それを上回る規模でバルカン半島をゆく難民の流れは、途絶える兆しがない。ホルゴシュから南へ車で2時間半、クロアチア国境にあるセルビアの村ベルカセボに回ると、降りしきる雨の中、国境に続く未舗装の泥道で、数千人が震えつつ立ちすくんでいた。クロアチアが国境を閉めたゆえの混乱だった。

ドイツへのルート上にあるEJ加盟国は、スロベニアも国境を一時閉鎖するなど、相次いでそれぞれが隣国に対処を押しつけ、人道危機が深まっている。

だが、一方でセルビアは、自国への流入口にあたるマケドニアとの国境閉鎖には動いていない。他国のような警官隊と難民の衝突や排斥感情の噴出もない。旧ユーゴ紛争の難民出身者を多くかかえる国情もあるが、何より政府の判断が働いている。今や孤立から脱し欧州統合の流れに身を託した中、将来のEJ加盟を視野に入れ、善意をアピールする意図だ。

「セルビアは難民保護の人道的な国際基準を守る。欧州標準といえるかどうかは微妙だが」。アレクサンダー・プリンス社会問題担当相(48)はそう皮肉ってから、各国が主権の枠に閉じこもらず、EJ加盟非加盟を問わず隣国が一体となった取り組みが必要だと私に強調した。そして、こう警告した。

「ローマ帝国が滅びたきっかけは異民族の侵入ではない。壁を作り、活力を失ったことだ」 (ヨーロッパ総局長)

フェンスの先に見える危機（朝日新聞、10月24日）

一種の既視感と複雑な思いが私を襲った。1999年の春、私自身がまさにこのハンガリー・セルビア国境で、何度も入国拒否され、立ち往生を強いられた。

ただしその時に入国制限策をとっていたのは、ハンガリーでなくセルビア（当時の国名はユーゴスラビア）の方だった。専制的なミロシェビッチ政権が、支配下に置いていたコソボの住民を弾圧し、米欧の連合軍から懲罰として空爆されていた。セルビアは国際社会で「悪玉」扱いされる国だったのだ。

ドイツへのルート上にあるEU加盟国は、スロベニアも国境を一時閉鎖するなど、相次いでそれぞれが隣国に対応を押しつけ、人道危機が深まっている。

だが、一方でセルビアは、自国への流入口にあたるマケドニアとの国境閉鎖には動いていない。他国のような警官隊と難民の衝突や排斥感情の噴出もない。旧ユーゴ紛争の難民出身者を多くかかえる国情もあるが、何より政府の判断が働いている。今や孤立から転じ欧州統合の流れに身を託した中、将来のEU加盟を視野に入れ、善意をアピールする意図だ。（梅原 季哉，朝日新聞ヨーロッパ総局長）

もう一つの出来事が、ハンガリー断罪の決定的な役割を果たした。難民に足を出したカメラウーマンの映像が世界に配信され、彼女はハンガリーの悪の象徴となった。

Hungarian camerawoman becomes the demon of Hungary

ハンガリーのカメラウーマンが
難民を転ばせた



Hungarian camerawoman filmed kicking and tripping up refugees says 'something snapped'

Petra László said she was 'truly sorry' but did not deserve the criticism

Lizzie Dearden | Friday 11 September 2015 | 51 comments



REUTERS/Marko Djurica



Refugee Trail Fame: A Trip, a Fall and a Whole New Life

By Ralf Hoppe



REUTERS

One kick was all it took to make Osama Mohsen, a professional soccer coach from Syria, into one of the most famous refugees to arrive in Europe last year. After a Hungarian camerawoman sent Mohsen tumbling, his life took an unexpected turn.

1 January 13, 2016 – 01:25 PM

Print

Feedback

Comment | 4 Comments



Share



Twitter



Email



A short, stocky man in a brown jacket is running through a field along the Hungarian-Serbian border, not far from the town of Rösztke. In his left hand, he is carrying a cloth shopping bag with the German words, "Bio macht schön" ("organic makes you beautiful"). In his other arm, he is carrying his crying, 7-year-old son, Said. Sewn into the man's underwear is \$600. His name is Osama Abdul Mohsen, 53, and he is a physical education teacher and soccer coach by trade, and a Syrian

From DER SPIEGEL

twitter.com/@GissiSim/Reuters/Sept. 8

Roszké, Hungary

CNNが作り上げた 「難民を蹴るハンガリーの悪魔」

CNN

01:30 CET

@AmaraCNN



転ばされたシリア難民男性、スペインでサッカー指導の職得る

【AFP＝時事】ハンガリーの女性カメラマンに足を引っ掛けられて転倒する場面が世界的に報じられ話題となったシリア難民の男性が、スペインのサッカーコーチ養成学校によって雇用されることになった。学校が16日、発表した。(AFP＝時事)

レアルマドリードは「難民」への連帯を表明し、ロナウドがシリア人の子供の手を引いて入場するというご褒美が与えられた。

An happy-end story was invented by CNN



CNNは、「東欧ハンガリーの悪魔が難民を排斥し、西欧の国スペインがその難民を温かく迎えた」というストーリーを作った。

悪魔にされたカメラウーマンは瞬間的に片足を上げたが、実際には、シリア人父子に届いていない。シリア人父の肩を掴んでいた警官の手が離れ、勢い余ったシリア人父子はバランスを失って、前のめりになり、地面に倒れた。

この光景をシリア人父子のサイドから撮影したCNN画像では、女性カメラウーマンとシリア人父子が重なって見えるから、あたかも上げた足でシリア人父子をつまかずかせたように見えただけのことだった。



足を上げる前に、すでに前のめりになっている。シリア人父子からは距離があり、足を上げても届かない



シリア人父子側から移した映像では距離感がない



CNNはハンガリーのカメラウーマンの「悪行」から「美談」を作り上げた。

CNNの意図はいったい何だろうか。アメリカの中東政策の失敗を欧州に転化する生け贄として、ハンガリーバッシングを行ったのか。

それとも

たんなるアメリカ的なハッピーエンドのストーリーを作り上げただけなのか。

お涙頂戴式の感傷的な報道や人道的立場をとっていれば、批判されることはないという安易な報道姿勢が目立たないか。

感情的な報道や虚偽の報道は、現在の「難民」問題の本質を理解することを難しくさせている。

Scenes of migrants route



Afterwards



難民一時収容施設周辺の映像





残された携帯に撮られた写真の中には、処刑や軍事訓練を移したものが多くと報道されている。シリアからきたほとんどの男性の若者は、政府軍か、IS軍の軍事訓練を経験していると言われている。

Pictures left in mobile phones

誰が大量の密航を組織したり、鼓舞したりしているのか

国際メディアの報道には情緒的な記事が多いが、密航を組織したり、欧州への「難民」・「移民」の大量流入を鼓舞し、後押ししている組織についての報道はほとんどない。

Viktor Orbán VS Georgy Soros



Six points proposal by Prime Minister Orbán

23rd Sept., 2015

- 1. Greece border should be commonly protected by EU member's countries.**
- 2. Refugees and economic migrants should be selected outside Schengen border.**
- 3. List of safe countries should be drawn up by the EU.**
- 4. The EU should make 3 billion euros to be spent for migrants crisis by increasing revenue by 1% and by decreasing expenditure by 1%.**
- 5. Developing a partnership with states whose involvement in handling the migrant crisis is unavoidable, such as Turkey and Russia.**
- 6. Global quotas should be introduced and all countries in the world should be involved in managing the migrant crisis.**



Six points proposal by Georgy Soros

26th Sept., 2015

- 1. The EU has to accept at least a million asylum-seekers annually for the foreseeable future.**
- 2. The EU must lead the global effort to provide adequate funding to support the four million refugees currently living in those countries.**
- 3. The EU must immediately start building a single EU Asylum and Migration Agency and eventually a single EU Border Guard.**
- 4. Safe channels must be established for asylum-seekers**
- 5. The operational and financial arrangements developed by the EU should be used to establish global standards for the treatment of asylum-seekers and migrants.**
- 6. The EU needs to mobilize the private sector – NGOs, church groups, and businesses – to act as sponsors for absorbing asylum seekers and migrants.**

Orbán Accuses Soros of Stoking Refugee Wave to Weaken Europe

30th Oct., 2015

"His name is perhaps the strongest example of those who support anything that weakens nation states, they support everything that changes the traditional European lifestyle", "These activists who support immigrants inadvertently become part of this international human-smuggling network."



Soros replies

“His plan treats the protection of national borders as the objective and the refugees as an obstacle,” “Our plan treats the protection of refugees as the objective and national borders as the obstacle.”

大量の「難民」・「移民」の移動を後押しする組織

密航を仲介する組織・「難民・移民輸送ビジネス」

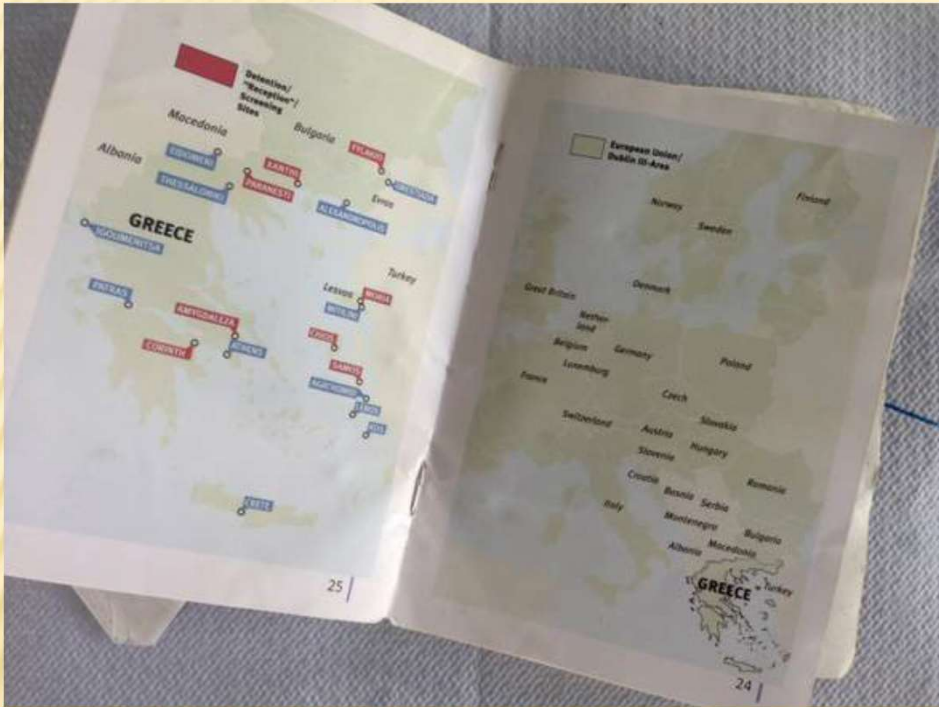
密航を鼓舞し支援する組織

密航船の船上で配布される手引き書

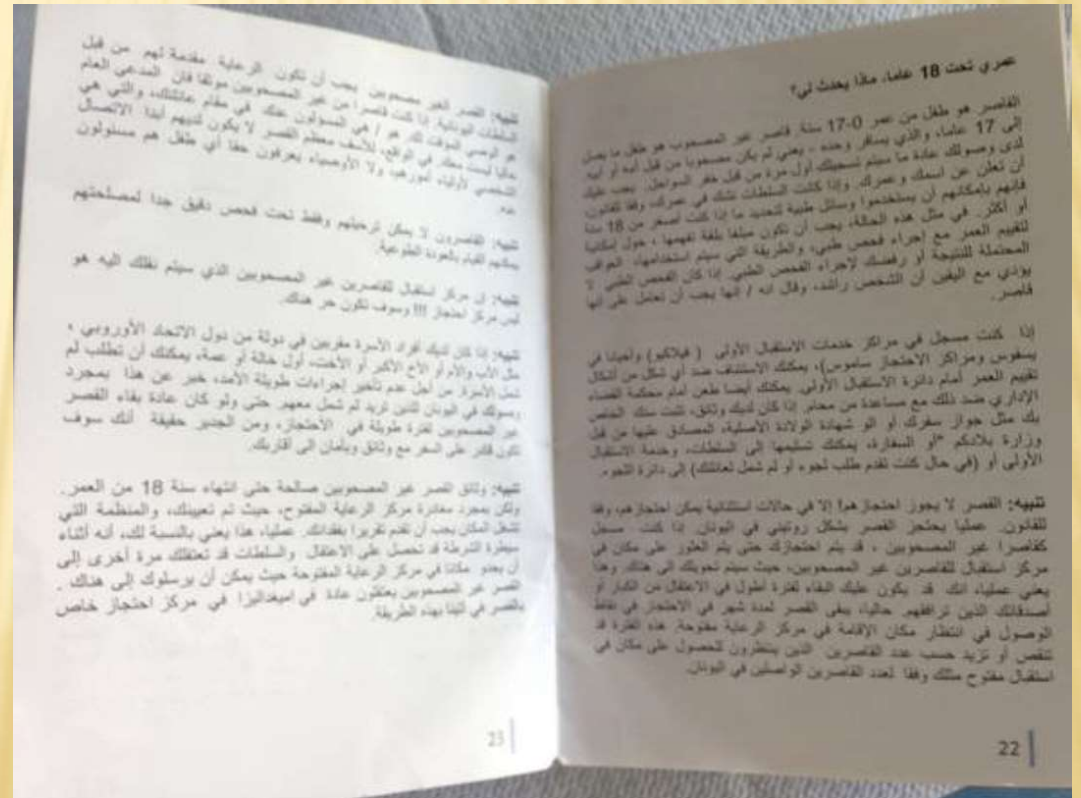


Jonathan Samuels, Sky News Correspondent, Lesbos, Greece

アラビア語で書かれている



ギリシアの漁港だけでなく、ハンガリー国境に捨てられたゴミの中からも同じ手引き書が見つかっている



この手引き書を制作したのは誰か？

「難民」・「移民」に情報提供するサイト

WTM-Network



FFM



w2eu

Supported by



PRO ASYL



w2eu.info - welcome to europe

Independent information for refugees and migrants coming to Europe

معلومات مستقلة للاجئين و المهاجرين القادمين الى اوروبا

Informations indépendantes pour réfugiés et migrants arrivant en Europe

اطلاعات مستقل برای پناهندگان و مهاجران آینده به اروپا

これらのサイトは多かれ少なかれ、ソロス財団の息がかかっているか、財政的な支援を受けていると思われる。確実にソロス財団がかかっていると考えられるサイトがこれである。

w2eu.info – welcome to europe

- Contact
- Overview
- Asylum
- Gender
- Recognition
- Detention
- Deportation
- Living
- Family
- Medical
- Compassion
- Albania
- Austria
- Belgium
- Bulgaria
- Croatia
- Cyprus
- Czech Republic
- Denmark
- Finland
- France
- Germany
- Greece
- Hungary
- Iceland
- Italy
- Ireland
- Latvia
- Lithuania
- Macedonia
- Malta



w2eu.info provides contacts and counselling to refugees and migrants on their way. At the outer borders of Europe, people are refused entry, they are imprisoned and deported. Nevertheless people are coming. w2eu.info is supporting you who come to Europe in your struggle for a better life.

"I can see clearly now what Europe looks like, that it sends its armies to fight us at the sea and puts us in awful prisons. Together we have to start a second journey to another safe place that might exist in the future."
(Eritrean woman, arriving on the island of Lesbos)

We welcome all travellers on their difficult trip and wish you all a good journey - because freedom of movement is everybody's right!

w2eu.info - welcome to europe

Topics

[Contacts](#)
[Overview](#)
[Safety at Sea](#)
[Dublin III](#)
[Asylum](#)
[Gender](#)
[Minors](#)
[Regularization](#)
[Detention](#)
[Deportation](#)
[Living](#)
[Family](#)
[Medical](#)
[Work](#)

Countries

[Albania](#)
[Austria](#)
[Belgium](#)
[Bulgaria](#)
[Croatia](#)
[Cyprus](#)
[Czech Republic](#)
[Denmark](#)
[Finland](#)
[France](#)
[Germany](#)
[Greece](#)
[Hungary](#)
[Iceland](#)
[Italy](#)
[Ireland](#)
[Latvia](#)

[Lithuania](#)
[Macedonia](#)
[Malta](#)
[Morocco](#)
[Netherlands](#)
[Norway](#)
[Poland](#)
[Romania](#)
[Serbia](#)
[Slovakia](#)
[Slovenia](#)
[Spain](#)
[Sweden](#)
[Switzerland](#)
[Turkey](#)
[Tunisia](#)
[UK](#)
[Ukraine](#)

This site

[About](#)
[Traces](#)
[Printings](#)
[Donations](#)
[Contact us](#)

Click Hungary > Dublin II

Coming from Greece to Hungary a **deportation to Serbia is the highest risk**. Hungary deports regularly people who crossed the Hungarian-Serbian border back to Serbia. Serbia then often pushes people directly back to Macedonia.

If you have fingerprints in Hungary and continue to another country you can be sent back to Hungary (also for example if the Greek fingerprints have not been found but those from Hungary are in the computer system). So in case you come to another country with fingerprints from Hungary, you should immediately get in contact with a lawyer and/or activist networks to try to stop the deportation.

W2EU.info のウェブサイトを運営しているのは誰か？

ジョージ・ソロスが資金を出している慈善団体 Open Society Foundation は、このサイトの制作・運営に深く関与している。

ヨーロッパのほとんどの国に財団を維持している Open Society Foundation は、広いネットワークと活動家を抱えている。

現在の「難民」・「移民」の欧州への大量流入をどう考えるか

21世紀のグローバリゼーションの歴史的一過程と考えるか

ヨーロッパの停滞を打破し、将来の成長のために既存の欧州
的価値を破壊する試みか

それとも

一部のユダヤ人によるホロコーストへの報復か

ジョージ・ソロスは何を狙っているのか

大量の「難民」・「移民」が発生した最大の原因はどこにあるか

明らかにアメリカのイラク侵略戦争が発端になっている。アメリカはイラク社会を崩壊させたが、それに代わる体制を作り上げることができなかった。

イスラム社会の複雑性を考慮せず、独裁政権を倒せば、民主主義が生まれるという短絡的な思考が支配している。アメリカはヴェトナム戦争の苦難を忘れ、中東社会を崩壊させることを急いだ。

アメリカはその結末の責任を取らない。

イスラム国家・社会崩壊の責任は誰が取るべきなのか

開戦根拠がないにもかかわらず、イラクを破壊した責任は、アメリカのみならず、イギリスやフランスにもある。ブレア首相は自らの判断を謝罪したが、謝罪で済ませられる問題ではない。

ハンガリーのジュルチャーニイ首相はイラク侵略戦争にハンガリーの軍隊を派遣した。したがって、ハンガリーがイラク戦争に始まる中東世界の破壊に無関係とは言い切れない。

年間百万人の「難民」を受け入れるべきは、欧州ではなく、まずアメリカではないか。ソロスは提言する相手を間違っていないか。

ジョージ・ソロスは何を狙っているだろうか

CNNと同様に、欧州に目を向けさせることによって、アメリカの結果責任を転嫁させようとしているのか

そして

異文化の民族を欧州に流し込むことそれともによって、欧州社会の価値を変化させ、アメリカ的な多民族国家的な欧州を作ろうというのか

停滞の欧州を突き動かし、新規の労働力を流入させることで、欧州の経済発展を実現しようと考えているのか

資本に国境は要らない。国境は資本移動の障害になる。だから、市場原理主義は国家を不要とするという意味で、アナーキズムである。

他方、古い欧州の「左翼」には、無責任なアナーキズム思考が刷り込まれている。当事者でない社会民主党政権がハンガリーの民族主義を激しく非難し、国境管理の厳格化に反対するのは、こうした背景がある。

つまり

市場原理主義と「左翼」的アナーキズムは、同質的な思考を様式をもっている。もっとも、それだからと言って、ソロスを「左翼リベラル」と批判するハンガリーの政権党には賛同できないが。

それとも

大量の難民をドイツに送り込むことで、ドイツ社会に時限爆弾を仕掛けようとするものか。

ホロコーストの復讐として

その理由はなんであれ

ソロスに欧州の未来を決める権利はないはずだ

アメリカは当事者意識に欠ける。イスラム社会を破壊した結果責任について、真面目にその責任を取るべきである。

そして

イスラム移民が、欧州社会に与える社会的文化的影響を考える必要がある

EU委員会にも、当面300万人の移民を受け入れる必要があり、それが将来の欧州経済発展の土台になるという考えを表明している首脳もいる。しかし、経済的な労働力となる前に、欧州は社会的・文化的なアイデンティティを失う危機に直面している。

ソロスのように経済的な側面だけを重視する考え方や、欧州「左翼」のように人道的無政府主義のイデオロギーは、現実の社会に生じている重大な問題にたいする解決策を提示することができない。

欧州社会へのイスラム移民流入は、欧州のアイデンティティにかかわる社会・文化の問題を惹起している。すでに1960年代から労働力としてイスラム移民を受け入れてきている諸国は、まさに今、この問題に直面している。

国連安保理招集を提案＝シリア空爆強化へー仏大統領

時事通信 11月17日(火)1時14分配信

【パリ時事】フランスのオランド大統領は16日、パリ郊外ベルサイユで開いた上下両院合同会議で演説し、「テロと戦う意志を国際社会で共有する決議」を採択するため、国連安全保障理事会を早期に開催すべきだと訴えた。

テロ対策を話し合うため、オバマ米大統領やプーチン・ロシア大統領と数日中に会談する意向も示した。

オランド大統領はパリ同時テロを踏まえ「フランスは世界を脅かすテロとの戦いの最中にある」と強調。その上で「シリアでの作戦を強化する。われわれのシリアでの敵は（過激派組織）『イスラム国』だ」と語り、仏軍が同組織の関連施設を対象に実施しているシリア空爆を拡大する方針を示した。

f1
EN DIRECT



ロシア空爆、1300人以上死亡＝シリア

時事通信 11月20日(金)22時26分配信

•

【カイロ時事】在英のシリア人権監視団は20日付の声明で、ロシア軍がシリア空爆を開始した9月30日以降、同軍の攻撃による死者数は1331人に達したと発表した。

監視団は「このうち403人が民間人」と指摘している。

戦闘員では、国際テロ組織アルカイダ系の「ヌスラ戦線」など反体制派547人が死亡。過激派組織「イスラム国」のメンバーは381人が命を落としたという。

Turkey supporters disrupt minute's silence before Greece friendly

<http://www.theguardian.com/international>

Turkish fans booed during the minute's silence for the victims of the Paris attacks before their national team drew 0-0 with Greece in a friendly international on Tuesday.



The Greek prime minister Alexis Tsipras, left, and his Turkish counterpart Ahmet Davutoglu observe a minute of silence before Tuesday's friendly. Photograph: Burak Kara **Reuters**

TV8 HD

canlı



二つのビデオに見られる当該社会の反応は、正反対である。

西側はテロの被害を声高に叫ぶが、東の世界の甚大な戦争被害に思いが及んでいないと感じるだろう。

それは強者と弱者との間に存在する普遍的な心理関係にもとづいている。

強者は自ら振るった暴力を簡単に忘れる、暴力を繰り返しても痛みを感じない。

しかし、暴力の被害者は、一度限りの暴力であっても、一生涯忘れることはない。

すでに欧州には数百万人のイスラム系移民が生活している。

しかし、当該社会への同化が進まず、イスラムのイスラムができていることが、欧州社会のアイデンティティを危うくさせている。

The Islamization of Belgium and

the Netherlands in 2013

In January, the gangland shootings of two young Moroccan men in downtown Amsterdam drew renewed attention to the growing problem of violent crime among Muslim immigrants. **January 13, 2014 at 4:30 am**
<http://www.MuslimImmigrants.org/412014/islamization-belgium-netherlands>
The Islamization of Belgium and the Netherlands has added down with AK-47 assault rifles in a shooting the mayor of Amsterdam, Eberhard van der Laan, described as reminiscent of "the Wild West."

In March, the Dutch public broadcasting system NOS television reported that **the Netherlands has become one of the major European suppliers of Islamic jihadists**. According to NOS, about **100 Dutch Muslims are active as jihadists in Syria**; most have joined the notorious Jabhat al-Nusra rebel group.

Belgium and the Netherlands have some of the largest Muslim communities in the European Union

Belgium is home to an estimated 650,000 Muslims, or around 6% of the overall population, based on an average of several statistical estimates. The Netherlands is home to an estimated 925,000 Muslims, which also works out to around 6% of the overall population. Within the EU, only France (7.5%) has more Muslims in relative terms.

Belgian and Dutch cities have significant Muslim populations, comprised mostly of Turkish and Moroccan immigrants, as well as a growing number of converts to Islam.

The number of Muslims in Brussels—where roughly half of the number of Muslims in Belgium currently live—has reached 300,000, which means that the self-styled "Capital of Europe" is now one of the most Islamic cities in Europe.

In 2013, Muslims made up approximately 26% of the population of metropolitan Brussels, followed by Rotterdam (25%), Amsterdam (24%), Antwerp (17%), The Hague (14%) and Utrecht (13%), according to a panoply of research.

このレポートには、2013年に起きたイスラム関係者とベルギーやオランダ社会との係争問題や、社会問題が詳しく報告されている。

欧州の社会的文化的価値を維持したいという国家があれば、それを尊重すべきだろう。とくに、ヨーロッパの小国が社会的文化的同化を拒否する少数民族を抱えることを拒否する権利をもっている。

これはイデオロギーの問題ではなく、社会の存続やアイデンティティにかかわる、社会の基本的価値にかかわるものである。EU内の国家であっても、多民族国家への移行を拒否する国を否定することはできないだろう。

ところで、中東でいったい何が起きているのだろうか。
その実態を知らせる情報は、あまりに少ない。

正義のアメリカとそれに賛同する国々が、悪魔のISと戦っているという図式は、騎兵隊がインディアンをやっつけるという安易なシナリオと同じである。

イラクは石油の海の上にある
(ウォルフォウィッツ、ブッシュ政権の国防副長官)



イランやシリアあるいはリビアに石油資源がなかったなら、これほどの戦争にはならなかった。資源と軍需産業の存在が21世紀における中東社会の崩壊を誘発した。イラク侵攻のように、侵攻の口実はなんでもよかった。

昨年8月にイラクで空爆を開始した有志連合は、翌9月にシリアへ戦線を拡大した。米国防総省によると、今月12日までにイラクとシリアで計8125回の空爆を実施。その費用は10月末時点で50億ドル（約6100億円）にのぼった。1日当たり1100万ドル（約13億4800万円）、1回79万ドル（約1億円）になる。

ストックホルム国際平和研究所（SIPRI）が世界の軍事サービス企業を調査した2013年版「The SIPRI Top 100」を見ると、ランクインした100社の総売上高は前年比約2%増の4020億ドル（約49兆2600億円）。米企業が半数近い43社を占め、ロシア14社、フランス10社、英国9社、イタリア6社が続く。上位10社も米国勢が圧倒。戦禍が広がるほど、自国の軍事産業が潤うカラクリ。

「日刊ゲンダイ」11月28日

SIPRI Top 10 Global Arms Producers (Excluding China) By Military Sales:

*EADS was renamed Airbus Group in January 2014

Ranking	Company	Country	2012 Sales (\$)	2013 Sales (\$)	Arm sale ratio/ Whole sale (%、 2013)
1	Lockheed Martin	U.S.	\$36B	\$35.5B	78%
2	Boeing	U.S.	\$30.6B	\$30.7B	35%
3	BAE Systems	UK	\$26.7B	\$26.8B	94%
4	Raytheon	U.S.	\$22.5B	\$21.95B	93%
5	Northrop Grumman	U.S.	\$19.4B	\$20.2B	82%
6	General Dynamics	U.S.	\$20.9B	\$18.6B	60%
7	EADS*	Pan-European	\$15.4B	\$15.74B	20%
8	United Technologies	U.S.	\$12.12B	\$11.9B	19%
9	Finmeccanica	Italy	\$12.53B	\$10.56B	50%
10	Thales	France	\$8.88B	\$10.37B	55%
27	三菱重工業	日本	\$3,24B	3,24B	9%

シリア空爆

ロシアおよび米国主導の有志連合によるシリア空爆作戦で標的とされた場所

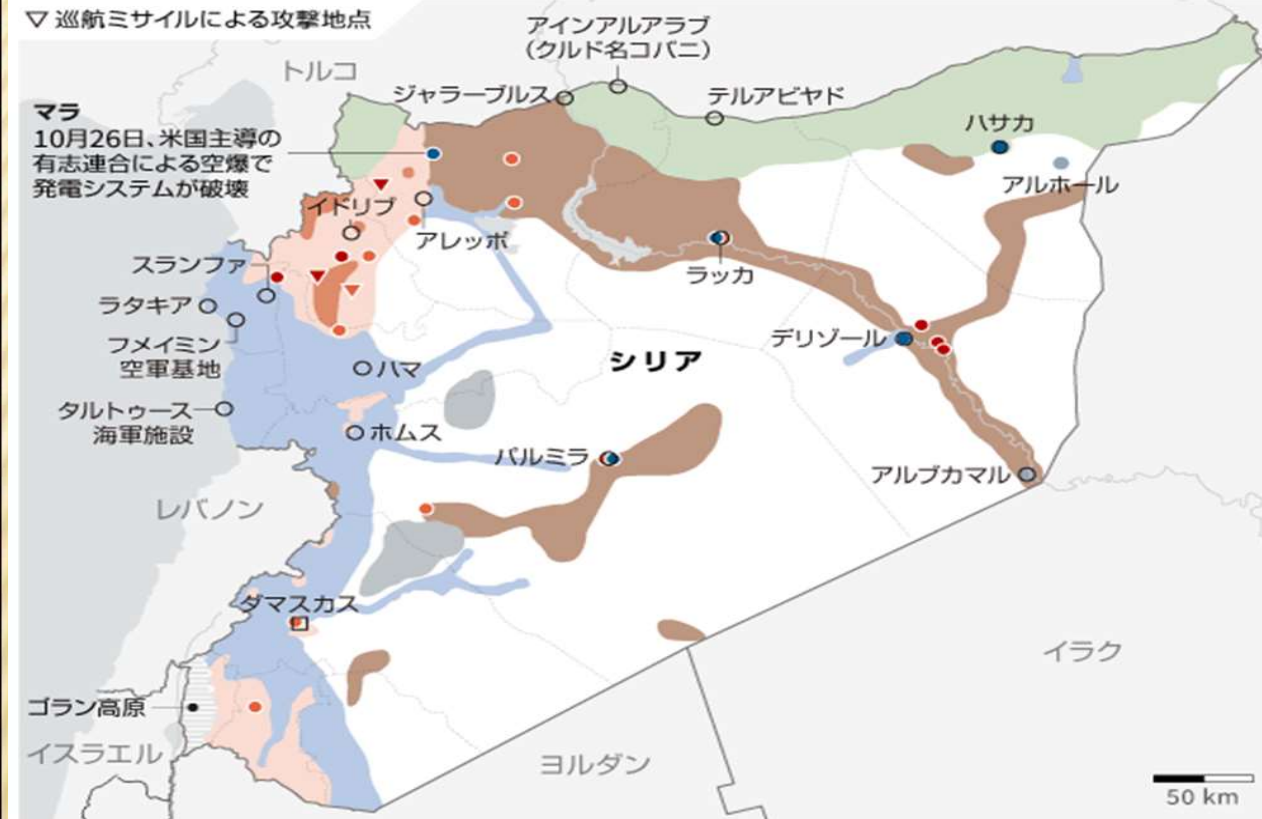
各勢力の支配地域

- シリア軍
- イスラム国 (IS)
- ヌスラ戦線 (JN)
- 反体制派
- IS、JN、反体制派など複数勢力
- クルド人武装勢力

空爆地点

- ロシア
- 米国主導の有志連合
- 11月18日-19日
- 11月18日
- 11月9日-17日
- 11月17日

▽ 巡航ミサイルによる攻撃地点



注: 空爆が報告された地点に最も近い地名を挙げている。
 ロシアの空爆地点については、政府の公式声明に裏付けされた信用できるテレビ局による報道と、反体制派や活動家ネットワークの資料に基づく。
 攻撃の頻度は示していない。

出典: 米シンクタンク「Institute for the Study of War」、米中央軍 (2015年11月20日作成)



1. 今時のシリアやイラクからの大量「難民」の流入は、昨年9月から始まった「有志連合」による空爆が直接的な原因である。したがって、空爆に参加した諸国は、空爆によって生じた結果に責任をもたなければならない。

2. IS (ISIS) はアメリカのイラク侵略およびその後のアメリカ主導によるイラクの分割統治から生まれたグループであり、多くの国がその誕生と武器・資金供与に関与している。アメリカがイラクやシリアにプレゼンスを維持するのは、中東への影響力を行使する拠点を確保し、石油資源への利権を保持するためである。

3. シリアの反体制武装組織を支援してきたアメリカ、フランス、イギリスは、シリアの体制混乱による「難民」発生に、結果責任がある。それをISだけの責任に転嫁することは許されない。武器と資金供与を行っている国は、同等に結果責任をとるべきである。

4. アメリカ他の有志連合は、ヴェトナム戦争の教訓を忘れてしまった。

ヴェトナム戦争の枯葉作戦で、ヴェトナムの森林をナパーム弾で焼き尽くしたアメリカは、それでもヴェトナムから撤退せざるを得なかった。5万人のアメリカ兵士が犠牲になったが、その20倍以上ものヴェトナム人が殺戮された。ナパーム弾による出生児の奇形は、戦後長らく大きな問題になってきた。

空爆はその地を荒廃させるが、平和をもたらすことはないし、それで新しい国作りが出来るわけでもない。多くの人命の犠牲と「難民」を生み出すだけなのだ。

**If an egg is broken by an
outside force, life ends.**

A photograph of a single egg with a jagged crack running horizontally across its middle. Bright light is streaming through the crack, creating a lens flare effect that extends to the right. The egg is set against a dark background.

**If an egg is broken
by an inside force,
then life begins.**

**Great things happen
from the inside.**

<http://www.morita-from-hungary.com>